

令和8年度 行政委員会事務局X方針について

■ 組織の使命

行政委員会事務局は、専門的かつ中立的な第三者機関である人事委員会、選挙管理委員会、監査委員の事務局である。

- ・**人事委員会**は、①市職員の採用試験等を適切かつ円滑に実施し、将来の市政を担う熱い志を持つ人材を確保するとともに、②市職員の労働基本権の代償措置として、職員の人事・給与制度や勤務条件の改善に向けた勧告などを行う。
- ・**選挙管理委員会**は、①選挙の適正な執行を管理し、市民の政治参加意識を高めるために、選挙に関する啓発・周知を行うとともに、②投票環境の向上など、有権者が投票しやすい環境づくりを進める。
- ・**監査委員**は、市の事務執行等を監査することで、①事務・事業の適法性や公正で効率的な行政運営を確保するとともに、②市政に対する市民の信頼性の向上に寄与する。

■ 行政委員会事務局X方針について

(1) 課題数 全2件

課題領域	Aレベル	Bレベル	Cレベル
課題数	2	—	—
政策分野	人事、選挙	—	—

Aレベル : 行政サービスにおける現場の改善等にかかる課題

B・Cレベル : 政策的な変革課題 (Cはより広域、将来を見据え、全庁横断的な視点を要する等)

(2) 主な課題・取組内容等

・課題A 将来の市政を担う優秀な人材の確保 (資料1のP4)

- 北九州市の持続可能なまちづくりを推進し、複雑化する行政課題に対応するため、将来の市政を担う多様で優秀な人材の確保が継続的な重要課題となっている。
- そのため、求める人物像に応じた「採用試験の改善」とターゲットに合わせた効果的な「リクルート活動 (広報)」を両輪で着実に推進し、本市が就職先として魅力ある「選ばれるまち」になるよう、環境づくりと情報発信に取り組んでいく。

・課題A 若者世代の投票率の向上 (資料1のP6)

- 投票率の低下傾向が常態化する中、特に、若者世代、20代の投票率が全体の投票率と比べ、著しく低い状況となっている。
- そのため、市内の大学や高校に通う学生らが、若者の投票参加促進について話し合う「選挙カフェ」を開催し、若者視点での選挙啓発イベントを自ら企画・実施する取り組みを行う。また、高校生の主権者教育推進のため、出前授業の積極的な活用を働きかけるとともに、若者世代の政治意識を醸成する仕組みづくりを継続的に検討していく。